

平成21年度病害虫発生予報第7号(10月予報)

今月のピックアップ

<http://www3.pref.okinawajp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

炭疽病（マンゴー）

学名 : *Colletotrichum gloeosporioides*
Colletotrichum acutatum



葉の症状



新芽の症状



果実の初期症状



病斑の中央にオレンジ色の胞子塊を生じる



分生子
(*C.gloeosporioides*)



果実の腐敗症状

生態と被害

本病はマンゴー栽培における重要病害であり、年間を通して葉、新芽、若枝、花序、果実に発生する。葉、若枝、新芽では黒みがかった褐色の斑点が次第に拡大し、融合して大型の円形病斑になり、進行すると黒く枯れる。花序や花軸では白いカビが生じることもある。果実では、熟とともに果面に黒褐色の小斑点を生じ、急激に拡大して陥没し、果肉まで腐敗する。出荷後に病斑が拡大し、市場病害として問題になることが多い。主な感染源は葉や若枝に形成された分生子と考えられ、雨水により伝搬される。